

2026年2月20日

各 位

(経過開示)「Hyper NYAN」における WWB 無期限先物取引の開発完了
およびローンチ予定に関するお知らせ

当社は、2026年2月9日付「[\(経過開示\)WOWBIT\(WWB\)トークンの Hyperliquid リスティング完了および『Hyper NYAN』対応準備開始に関するお知らせ](#)」にて既報のとおり、当社が支援する「Hyper NYAN」において、WWBの無期限先物取引(Perpetual Market)への対応に向けたリスティング準備を開始したことをお知らせしておりました。

このたび、「Hyper NYAN」における WWB 無期限先物取引の開発が完了し、2026年2月23日(月)にローンチを予定していることをお知らせいたします。

1. 開発完了の概要

「Hyper NYAN」における WWB 無期限先物取引に関し、以下の開発が完了いたしました。

◆ 実装完了機能

- ロング・ショート双方向の取引機能
- レバレッジ取引機能(2倍・3倍対応)
- スマートコントラクトの実装完了
- 各種不具合の解消および最終テスト完了

これにより、WWB トークンは現物取引(スポット)に加え、無期限先物取引(Perpetual Market)でも取引可能となります。

2. ローンチ予定日

2026年2月23日の週の前半(予定)

当社が支援する「Hyper NYAN」において、WWBの無期限先物取引サービスを開始する予定です。

3. 本取り組みの意義

➤ WWB 経済圏のディーリング基盤の強化

2025年10月21日付「[Hyperliquid チェーン上における DEX 型 Perpetual Market 実証実験成功のお知らせ](#)」にて既報のとおり、初期段階では、WWB 経済圏のトークン(WWB, ZMAT, AGF, NYAN)のみに対応し、最終的にはミームコイン、RWafi、ステーブルコイン、ユーティリティトークンなど多様なアセットに対応した分散型トレーディングプラットフォームを目指しております。

WWB トークンの「Hyper NYAN」での無期限先物取引開始は、その実現に向けた重要なステップとなります。

➤ ロング・ショート双方向取引による市場流動性の向上

無期限先物取引により、ロング(買い)・ショート(売り)双方向の取引が可能となり、市場の流動性向上および価格形成機能の強化が期待されます。

➤ 分散型金融エコシステムの推進

本プロダクトは分散型・ノンカストディ設計となっており、当社および関係会社がユーザーの暗号資産、秘密鍵、個人情報等を管理または保管することはありません。

4. 事業体制および当社の立ち位置

本プロダクトの事業主体は、アラブ首長国連邦(ドバイ)に所在する法人(以下「ドバイ法人」)であり、当社は当該ドバイ法人との間で締結した匿名組合契約に基づき、本プロダクトに関与しております。なお、ドバイ法人及び匿名組合契約に関する情報等の開示に関しては、相手先のご意向により非開示となります。

当社は、ドバイ法人に対し、技術開発に関する支援、ビジネスデベロップメント支援、マーケティングおよびエコシステム拡張支援を行う立場にあり、本プロダクトの運営主体ではありません。

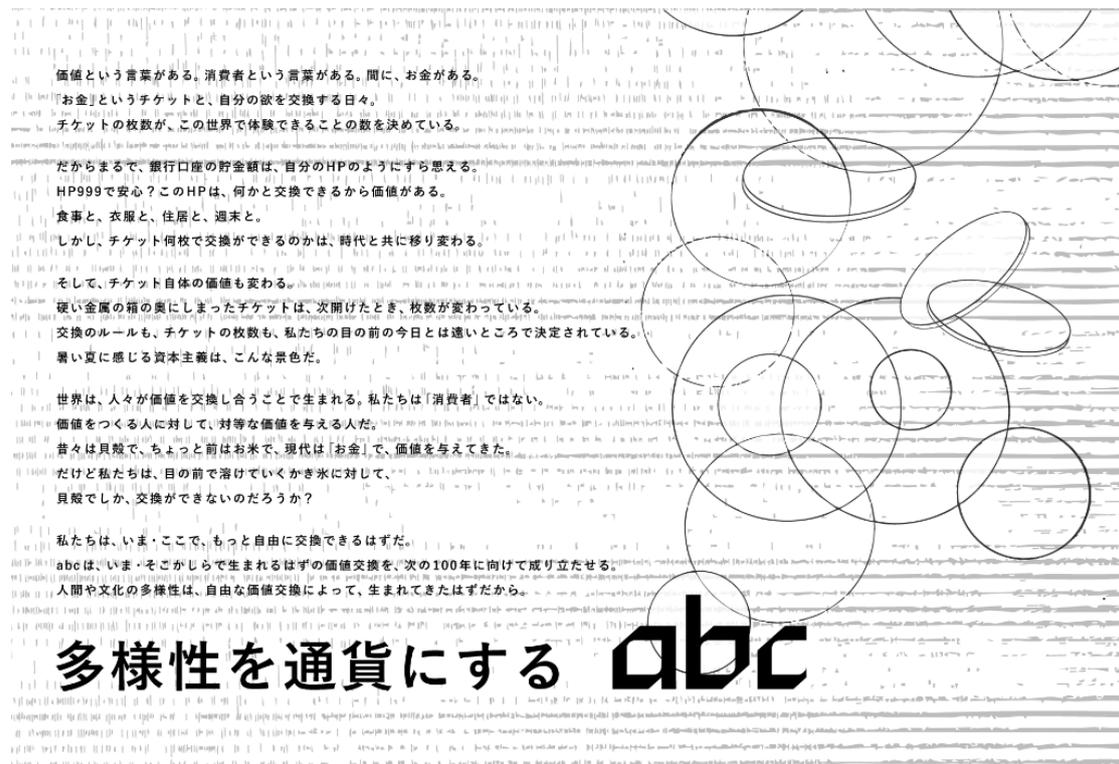
また、本プロダクトは、当社が日本国内において暗号資産交換業を営むものではなく、資金決済法上の暗号資産交換業には該当いたしません。

なお、本件が当社連結業績に与える影響は軽微です。

※本リリースは情報開示を目的としており、暗号資産の購入や売却を勧誘するものではありません。

※記載された時点での情報に基づいており、今後の運営方針や仕様は変更となる可能性があります。

ださい



価値という言葉がある。消費者という言葉がある。間に、お金がある。

『お金』というチケットと、自分の欲を交換する日々。

チケットの枚数が、この世界で体験できることの数を決めている。

だからまるで、銀行口座の貯金額は、自分のHPのようにすら思える。

HP999で安心？このHPは、何かと交換できるから価値がある。

食事と、衣服と、住居と、週末と。

しかし、チケット何枚で交換ができるのかは、時代と共に移り変わる。

そして、チケット自体の価値も変わる。

硬い金属の箱の奥にしまったチケットは、次開けたとき、枚数が変わっている。

交換のルールも、チケットの枚数も、私たちの目の前の今日とは違うところで決定されている。

暑い夏を感じる資本主義は、こんな景色だ。

世界は、人々が価値を交換し合うことで生まれる。私たちは「消費者」ではない。

価値をつくる人に対して、対等な価値を与える人だ。

昔々は貝殻で、ちよっと前はお米で、現代は『お金』で、価値を与えてきた。

だけど私たちは、目の前で溶けていくかき氷に対して、

貝殻でしか、交換ができないのだろうか？

私たちは、いま、ここで、もっと自由に交換できるはずだ。

abcは、いま、そこらで生まれるはずの価値交換を、次の100年に向けて成り立たせる。

人間や文化の多様性は、自由な価値交換によって、生まれてきたはずだから。

多様性を通貨にする abc

■ abc 株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abcは「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abcのグループ企業ネットワークにも「Tokenizing by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目9番17号 赤坂第一ビル11階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

pr@abc-chain.com

以上